

目標達成計画

作成日: 平成29年 2月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	54	入居当初、使い慣れた家具等での居室作りをご利用者、ご家族と共に行ってきた。しかしながら認知症の進行状態や身体的状況の重度化により入居当初からの居室は、本人にとって快適な居場所とはなっていない。 ご利用者が安楽に心地よいと感じる環境を作る為の知識と、スキルアップが今後の新たな課題となってきた。	本人はもとよりご家族と共に過ごせる快適な環境作りができるようになる。 窓から見える景色を味方にし、心地良く穏やかに流れる空間の提供ができるようになる。	ご利用者の状態に必要な環境面をBS法から考え、問題点を導き出し、支援に繋げていく。また、ご利用者お一人お一人の心理的、精神的な面からの心地良い環境についての考え方の研修を行い、実践していきたい。スタッフ各々のレベルアップを図りたい。	3ヶ月
2	52	居心地の良い共用空間についてスタッフ間の認識に差があり、なぜ、ご利用者にとって、その場所が必要なのかということについても理解が深まっていない。よって、ご家族に対しても、根拠にもとづいた支援内容を伝えることができない。	ご利用者にとって、スタッフや他のご利用者を含む環境自然・空間・匂い等を整える事が、ご利用者の豊かな生活に繋がることをスタッフ全員が理解することができる。 そして、実践することができる。	勉強会を行い、スタッフの支援や自然の景色や光を取り入れることによって、ご利用者がどのように変わるか知識を得、実践する。加えて一日の中でご利用者お一人お一人が過ごすのに最適な場所はどこなのかについても考え、実践していくと同時に、ご家族にも説明・納得いただけるような取り組みをしていきたい。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。